

解説：Systemic lupus erythematosus は全身倦怠感，易疲労感，発熱などで発症して蝶形紅斑やディスクロイド疹が特徴的である。筋肉痛，関節痛は見られるが，四肢先端の痛みはない。ディスクロイド疹とはレコード盤のような皮疹という意味で，一つ一つが丸い発疹で，顔面，耳介，頭部，関節背面によくできる。

リウマチ性多発筋痛症は，発熱，肩甲帯部，腰臀部などの筋肉痛とこわばり，力が入りにくいなどの症状が見られる疾患で，一般には50歳以上の中高年に発生する。皮膚症状はない。

Sjögren 症候群は慢性唾液腺炎と乾燥性角結腸炎を主徴として多彩な自己抗体の出現や高ガンマグロブリン血症をきたす自己免疫疾患の一つである。眼，口腔，気道，皮膚などの乾燥症状，唾液腺，涙腺の腫脹を含む多臓器の炎症が主症状となる。

ファブリー病はライソゾーム中の $\alpha$ ガラクトシダーゼが欠損することによってGb3などの糖脂質が心臓，腎臓，血管の内皮細胞や神経節細胞に蓄積することによって様々な臨床症状を引き起こす疾患である。幼少期以降に四肢疼痛，発汗障害や被角血管腫などで発症して，学童期以降から角膜混濁やタンパク尿を認めて，成人期から心障害，腎障害や脳血管障害を発症する。X染色体連鎖であり，男性では発症して，女性では保因者となり，様々な程度の臨床症状を呈する。このために，発症年齢も男性の方が早い傾向にある。小児期おける主な症状としては，四肢疼痛，低汗症，被角血管腫，角膜混濁などがある。被角血管腫は真皮乳頭部の毛細血管拡張と毛細血管を取り囲む表皮が角化して表面が疣贅上になった状態。糖尿病では末梢神経障害から自律神経が障害されて，無汗症になることがある。

尚，この問題は日本医師会生涯教育講座コンテンツ「かかりつけ医が知っておくべきファブリー病（CC・63）」を参考に作成しました。

解答：d